

日本建築学会北海道支部 2010 年度第 1 回常議員会議事録

記録：岡本

日時：平成 22 年 7 月 29 日（木）18:30～18:00

場所：北海道建設会館ビル 支部事務所会議室

出席：支部長：角

常議員：大柳、谷口、那須、森、稲川、岡本、関、本井

代議員：平尾、南出

監事：串山 事務局：菊地

配付資料

- | | |
|---|--------|
| 1. 前回（2009 年度第 5 回常議員会）議事録(案) | 資料 1-1 |
| 2. 理事会・支部長会議報告(支部長より) | 資料 1-2 |
| 3. 支部経理報告 | 資料 1-3 |
| 4. 2010 年度道内工業高校卒業設計巡回展について | 資料 1-4 |
| 5. 構造専門委員会主催見学会について | 資料 1-5 |
| 6. 常議員の役割担当について | 資料 1-6 |
| 7. 第 30 回北海道建築作品発表会スケジュールについて | 資料 1-7 |
| 8. 材料施工専門委員会主催講演会について | 資料 1-8 |
| 9. 後援依頼について | 回覧資料 |
| 1) (社)北海道建築設計事務所協会より「第 35 回北の住まい住宅設計コンペ」 | |
| 2) 土木学会より「混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価」に関する報告会 | |
| 3) (社)日本コンクリート工学協会北海道支部より
「コンクリートの日 in Hokkaido 出前講座 大学から技術者へ
～技術情報のはっしんと情報交換～」 | |

司会：森

議事内容

- ・議事に先立って、支部長より挨拶があった。
 - ・7月3日支部研において佐藤会長との懇談会について
新法人制度に関する検討の進捗状況について説明があった
 - 30周年を迎える作品発表会は先進的かつ支部の特色ある活動と評価された

- 1 前回（2009 年度第 5 回常議員会）議事録（案）の確認（谷口 / 資料 1-1）
 - ・修正なしで承認された。
- 2 本部理事会・支部長会議の報告（角 / 資料 1-2 および回覧資料）
 - 6 月理事会
 - ・法人制度改革に伴う体制移行は一般社団で決定した
 - ・建築会館が財産であること、本部-支部(支部長=理事)の体制などは、一般社団に馴染まない
 - ・今まで通りの体制を基本に、新制度に馴染ませていきたいと考えている
 - ・学術法人の創設が必要である
 - 7 月理事会
 - ・2011 年度大会について、2011.08.23～25、早稲田大学早稲田キャンパスに決定した
 - ・東京都中央区に現存する復興小学校 7 校舎の保存要望書は、ほぼ無視された状況となった
 - ・区長、議会議長、教育長の 3 者を含めて、上記回答に対する回答をおこなった

- ・「木造禁止」決議は、伊勢湾台風(1959)の被害を受け“防災地域”の指定とその地域内のこと
 - ・誤った認識の拡大を抑えるため、小学館への適切な対処と、HPで考え方や経緯を提示する
- 支部長会議

- ・特色ある支部活動企画の募集の本部締切りが9月30日となった
- ・北海道は過去4回採用されており活発。継続したい
- ・大林組からの会費100口が70口に減少し、支部への配分が変更となった
- ・上記に関連して、大手の法人会員が右倣えすることが懸念されている
- ・ふるさと賛助会員 = 居住地以外の支部に賛助会員が会費を納付するアイデア
新規の賛助会員に関するものと想定するが、新法人の体制から支部への納付が可能かどうかも含め検討の方向

- 3 支部経理報告 (事務局(総務委員長菊地代理) / 資料1-3)
- ・4~6月まで、例年通り順調に運営しており、変更はない
 - ・(2)事業収入の主なものは、支部会の発表登録料である
 - ・(5)他会計からの繰入金収入は、基本部門が本部から交付金で4月と6月に入っている
 - ・同上のうち、会館部門は事務所賃借料目的の交付金で4月に入っている
 - ・詳細については、次回改めて、総務委員長より説明がある
- 4 道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展示について (森(担当常議員山本代理) / 資料1-4)
- ・巡回展の予定について、資料1-4の通り報告があった
- 5 構造専門委員会主催見学会について (森(構造専門委員主査田沼代理) / 資料1-5)
- ・資料1-5の通り実施されたとの報告があり、追認した
 - ・参加者は85名であった
- 6 常議員の役割担当について (角 / 資料1-6)
- ・資料1-6で案が説明され、案の通り承認された
 - ・北海道建築設計会議は、職能団体が中心で学術は当学会のみである。現在は、建築士法の制度に関連する話題が中心となっているため、参加を継続することが必要であると判断した
- 7 第30回北海道建築作品発表会スケジュールについて (森、角 / 資料1-7)
- ・作品発表会の作品募集、開催日時について、資料1-7の通り報告があった
 - ・作品の登録締め切りは9月22日17:00。発表会は12月3日11:00~16:30。@北海道立近代美術館
 - ・今年度は30周年の節目にあたり、特色ある支部の活動でもあるため、内容の濃いものが望まれる
 - ・支部長には冒頭挨拶と30年を振り返る執筆原稿が依頼されている
- 8 材料施工専門委員会主催講演会について (角 / 資料1-8)
- ・開催日時などについて、資料1-8の通り報告があった
 - ・2月に札幌で開催済(100名定員に130名程度参加)
 - ・北国ならではの取組みで、特色ある支部活動のひとつに数えられる
 - ・黒字が出た場合には専門委員会ではなく、支部の会計に組み入れる
 - ・会場の手続きによっては支部長名で講演依頼の提出が必要な場合も考えられるため要配慮
- 9 後援、共催依頼について (角 / 回覧資料)
- ・以下3件が承認された。
(社)北海道建築設計事務所協会「第35回北の住まい住宅設計コンペ」

土木学会「混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価」に関する報告会
(社)日本コンクリート工学協会北海道支部「コンクリートの日 in Hokkaido 出前講座 大学から
実務者へ～技術情報の発信と情報交換」

10 その他

- ・若手会員の増員策について（現状の課題やアイデアなど）

作品選集の存在、最近面白くなってきた建築雑誌は、現会員の引き留めになっていそう
学会の支部共通事業設計競技は上位に残れば刺激的であるが、審査プロセスが長い
実務者では解決が難しい現場の課題や問題を相談できる専門家がほとんどわからない
（人材リストのようなものは個人情報保護法に大きく影響される）

準会員制度が周知されていない

CPDのポイントが得られる集まりに関する充実した情報の提供

講習会の情報や割引制度の強化と周知があるよい

学生無料の講演会を年4回ほど開催（開催しても意外に参加が少ないのが実態）

コンペ情報や設計資料やプレゼンの素材など会員のメリットとなる閉じたサイト

学生主体の横断的なあつまり、委員会の立ち上げ、活動奨励金など

- ・次回常議員会：10月14日(木)18：30～ 支部事務所会議室

以上